

2020年度第10回西日本放送番組審議会

開催年月日 2021年3月9日（火）14:00～16:00
開催場所 西日本放送高松本社 5階役員会議室
委員の出欠 委員総数 8名
出席委員数 6名

出席委員の氏名

高嶋克洋	委員長
鈴木賢史	委員
佃昌道	委員
森下聖史	委員
藤村晶彦	委員
山崎達成	委員

欠席委員の氏名

片岡雅子	委員
岡田佳子	委員

社側の出席者

中村卓朗	（代表取締役社長）
富永久	（取締役総務局長）
中川洋一	（業務推進局長）
小野修一	（報道制作局長）
松村文彦	（報道制作部）

事務局

和家剛	（編成業務部長兼放送審議室長）
山本峰子	（放送審議室）

2020年度第10回番組審議会議事次第

開催日 2021年3月9日（火）14:00～16:00

場 所 西日本放送高松本社 5階役員会議室

〔議 事〕

議事進行 高嶋克洋委員長

社側挨拶 代表取締役社長 中村卓朗

1. 議 題 テレビ番組
『 ルック 』

2. 質疑応答

〔次回開催予定〕

開催日 2021年4月13日（火）14:00～16:00

場 所 西日本放送高松本社 5階役員会議室

TEL 087-826-7241

議 題 『 未定 』

以 上

【議事概要】

今回はテレビ番組『ルック』を視聴していただきました。

委員の皆さまからは、番組が15分という短い時間で、コンパクトにまとめられていて、どの回でも焦点がまとまっているところが気に入っている。今は人口減少や担い手不足で地方にとっては厳しい時代だが、そんな中でもこうして出演する企業は気がついたら何かを持っているとか、そういう企業が地方発信で成長していくヒントがここにある的な、そういうことを印象づけられている。

番組を見て、自分も頑張らなければならないと思う。毎回、こんな企業があるんだなという会社を紹介してくれており、そういう会社のリサーチとかは大変かと思うが、ほんとに凄いなと思っている。

放送翌日が月曜日なので、明日から何かやろうねというときに、少し元気が出たらとか、これからのビジネスはどうなるかなというところに、いつも何か教えてくれるものがある番組ではないかと、私は思っている。地方の元気な企業を探すのはとても大変だろうと思うが、しっかり探していくという作業と、1週間のうちにそれを全部番組に仕立て上げていくという力は凄いと思っている。ともすれば、マンネリ化しがちだが、この番組に関してはとても気を使って苦勞してつくっている番組のような気がする。地方局ならではの大事な仕事ではないかと思う。当然、会社は生まれてくるところもあれば、残念ながら消えていくところもあるが、それぞれの時代のトレンドをしっかりと伝え、今からのビジネスのあり方なども含めて、教えてくれる番組はなかなかありそうでないように思う。

番組編集についてだが、CMが終った後にそれまでの流れをコンパクトにまとめていたが、あれはCM跨ぎで改めてそこから番組を見た人にとっては非常にいい試みのように思う。

気になったことは、社長が仕事を説明する中で、「オーイーエム」という専門用語がでてきた。「ブランド品の縫製」というように口頭で説明されたと思うが、聞きなれない言葉なので、字幕で説明があったほうが良かったのではないかと思った。

どちらのインタビューでも興味深い内容が引き出されていて、コンパクトにまとまったいい番組だと思った。最後の、夢を複数の方々に聞くのもとても良いと思った。危機や課題の中に、ビジネスのヒントがあることが感じられ、前向きになる。特に昨今は、前例のない答えの見つからないような状況が続いている。混沌とした中で、道筋を明るく照らしてくれるような番組作りを今後も引き続きお願いしたい。との意見がありました。

制作者からは、毎週、このような形で、企業さんを取り上げさせてもらっていますが、放送企業の選定は私のほうで決めており、だいたい 1 カ月ぐらい前に事前取材の形で代表者様に 1～2 時間お話を伺い、撮影の台本を決め、だいたい 3 週間前に撮影するという流れで、毎週どこかの企業さんに打ち合わせに行き、毎週どこかの企業さんを取材するという形で、週 2 日は打ち合わせや撮影をしています。今は、新型コロナへの取り組みをしている企業や事業承継の若手経営者の取り組みを紹介するようにしています。

この番組は、日曜日の昼前の放送なので、男女問わず多くの方に見ていただいております。ですから、できるだけわかりやすい言葉で、詰め込み過ぎず、ポイントを押さえるという方針で取り組んでいます。

コロナ禍の中でも光り輝くものを持っている企業さんを取り上げ、視聴者の方を元気づけられる番組をつくっていきたいと思っています。

との回答がありました。